

# 2017年3月期 第2四半期決算概要

2016年10月26日  
メタウォーター株式会社

- I 2017年3月期第2四半期の成果  
および2017年3月期業績予想
- II 2017年3月期第2四半期決算概要

## <セグメント情報>

### □プラントエンジニアリング事業(略語:PE事業)

当セグメントでは、浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセスに使用する機械設備の設計・調達・建設と、それらを運転するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。

### □サービスソリューション事業(略語:SS事業)

当セグメントでは、浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、維持管理(保守・点検)、運転管理などの各種サービスを主たる業務としています。

## <略語>

EPC	Engineering, Procurement and Construction: 設計・建設
O&M	Operation and Maintenance: 運転・維持管理
PPP	Public-Private Partnership(官民連携): 公共サービスの提供に民間が参画する手法
PFI	Private Finance Initiative: 公共施設の設計・建設、運転・維持管理、資金調達に民間を活用する公共事業の手法
DBO	Design, Build and Operate: 公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法

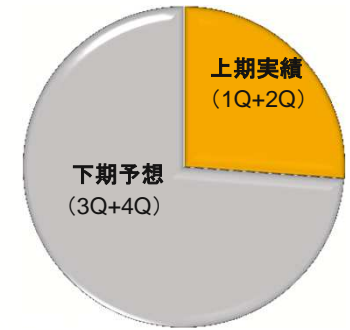
- I 2017年3月期第2四半期の成果  
および2017年3月期業績予想
- II 2017年3月期第2四半期決算概要

# '17/3期2Q決算ハイライト

## \* 売上高・利益

前期からずれ込んだEPC案件の一部が売上貢献したことに加え、O&M、PPPも順調に推移したことから、2Q累計実績は概ね予想通りの増収増益。

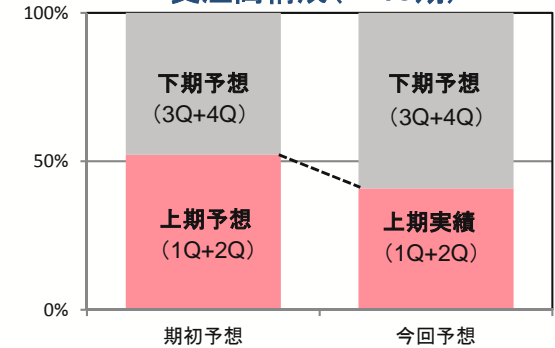
売上高構成('17/3期)



## \* 受注

受注高は予想以上に下期偏重となり、2Q累計実績は低調だったものの、AAS社<sup>\*1</sup>の連結効果により前期並み。受注残高は前期比で増加。

受注高構成('17/3期)



(単位: 億円)

	受注高 (受注残高)	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益 <sup>*2</sup>
'17/3期2Q累計実績	563 (1,343) 前期比▲2(+54)	293 前期比+78	-40 前期比+17	-44 前期比+12	-25 前期比+13
'16/3期2Q累計実績	565 (1,289)	215	-57	-56	-39

5 <sup>\*1</sup>AAS社: Aqua-Aerobic Systems, Inc. (本社・米国イリノイ州、'16/1 子会社化)

<sup>\*2</sup> 親会社株主に帰属する四半期純利益

# '17/3期2Q累計の成果 –PEセグメント

## EPC

### 10億円規模の大型工事を5件受注(すべて2Q)

- \* 沖縄県企業局 北谷浄水場2系ろ過池機械設備工事(その1)
- \* 東京都下水道局 南部汚泥処理プラント脱水焼却電気設備再構築工事
- \* 東京都下水道局 森ヶ崎水再生センター(西)高速ろ過設備工事
- \* 高山市(岐阜県)宮川終末処理場汚泥焼却炉長寿命化工事
- \* 京都市上下水道局 伏見水環境保全センター高速ろ過機械設備工事 ほか

当社最大規模の  
急速ろ過池工事

### 3億円以上の工事を8件完了(うち4件 2Q)

- \* 東京都水道局 金町浄水場第1高度浄水施設電気設備改良工事(2Q)
- \* 東京都水道局 南部汚泥処理プラント発電設備その2工事(2Q)
- \* 京都市上下水道局 新山科浄水場中央監視制御設備更新工事(1Q)
- \* 東京都水道局 砧浄水場非常用自家発電設備取替工事(1Q) ほか

## 海外

- \* AAS社の損益計算書を連結('16/4~)
- \* MUSA\*北米事業をAAS社へ移管('16/5~)
- \* 米国South Austin Regional 下水処理場向け クロスメディアフィルター受注(2Q)

6 \*MUSA:METAWATER USA, Inc. (本社:米国ニュージャージー州、当社米国子会社)

## O&M

### 長期・包括案件など3件で業務開始

- \* 川崎市(神奈川県) 加瀬水処理センター・処理区ポンプ場点検業務(長期契約)(1Q)
- \* 宇都宮市(栃木県) 清原水処理センターほか2か所包括的維持管理業務(包括委託)(1Q)

ほか

## PPP(PFI/DBO)

### 新規案件を1件受注、2件で業務開始

- \* 見附市(新潟県) 青木浄水場更新事業 受注(2Q)
- \* 荒尾市(熊本県) 水道事業等包括委託 業務開始(1Q)
- \* 北九州市(福岡県) 株式会社北九州ウォーターサービス 業務開始(1Q)  
(北九州市 54%、メタウォーター 19%ほか5社の出資による第三セクター)

新潟県初となるDBO方式による浄水場更新

### <参考>

豊川浄化センター汚泥処理施設等整備・運営事業 運営・維持管理 業務開始('16/10~)

# '17/3期通期業績・配当予想

\* 通期業績予想は据え置き

\* 上期は概ね予想通りに推移、下期も予想通りの見通し

(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益*	年間配当(円)
'17/3期 予想	1,260 前期比:+135	1,120 前期比:+89	62 前期比:+8	61 前期比:+10	40 前期比:+12	58
'16/3期 実績	1,125	1,031	54	51	28	58

\* 親会社株主に帰属する当期純利益



## Ⅱ 2017年3月期第2四半期決算概要

- 1 連結損益計算書
- 2 セグメント情報
- 3 連結貸借対照表
- 4 連結キャッシュ・フローの状況
- 5 業績予想

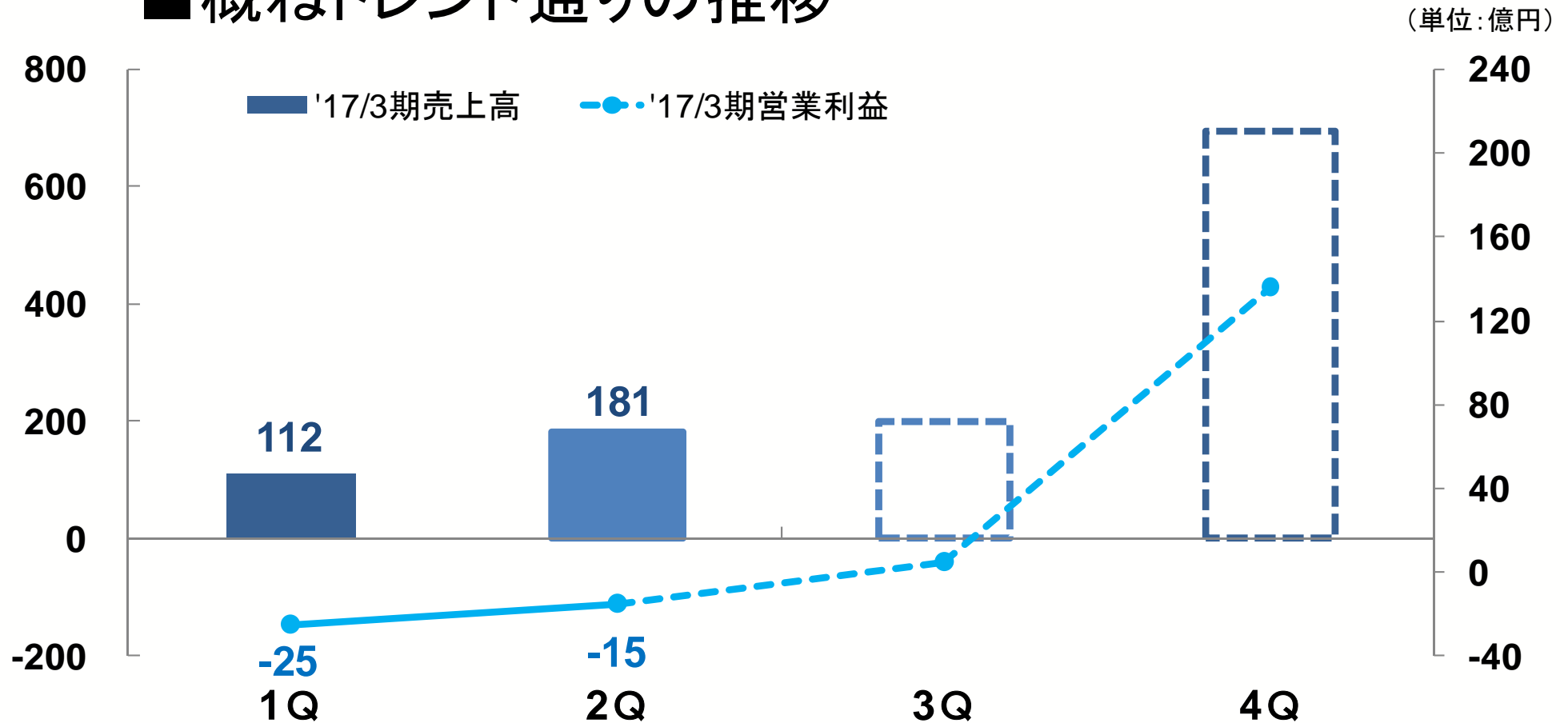
# 連結損益計算書（'17/3期2Qの業績）

（単位：億円）

	'16/3期 2Q実績	'17/3期 2Q実績	増 減
売 上 高	215	293	+78
営 業 利 益	-57	-40	+17
（ 営 業 利 益 率 ）	-26.4%	-13.7%	
経 常 利 益	-56	-44	+12
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	-39	-25	+13

\* 10百万円単位を四捨五入

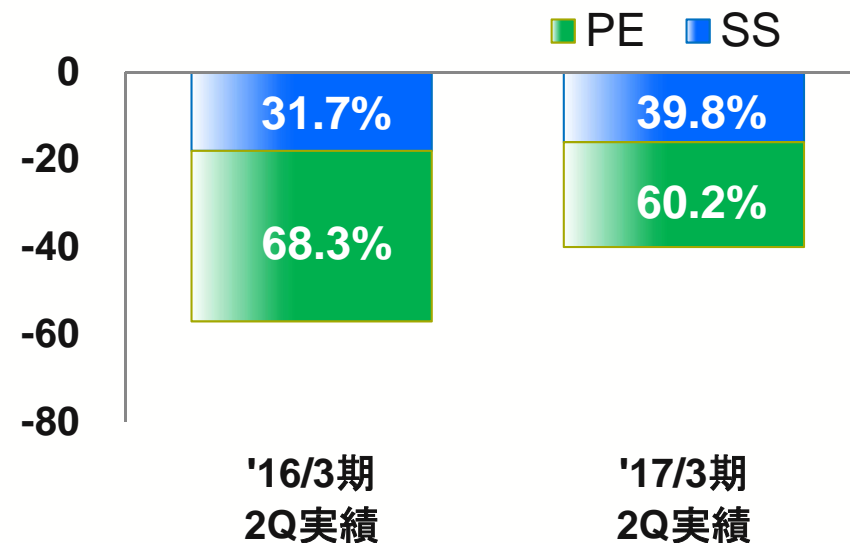
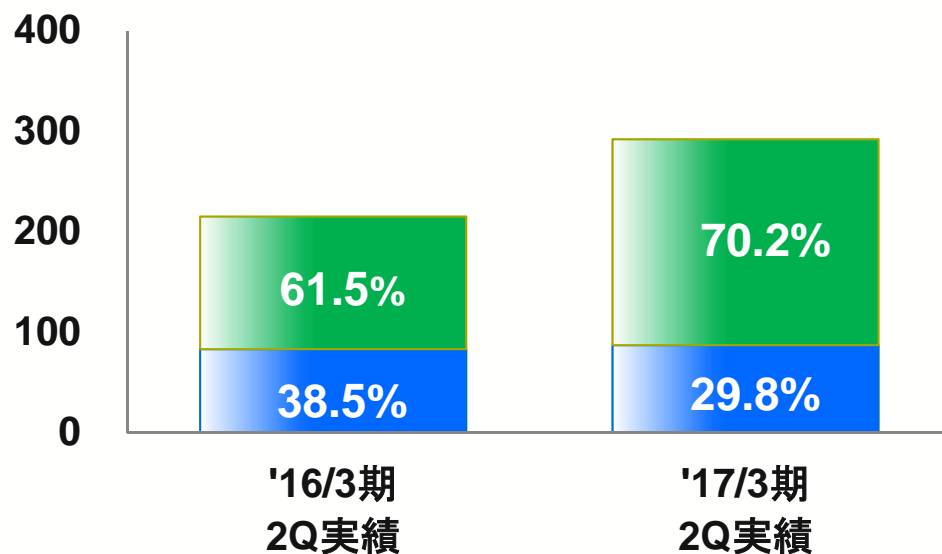
## 概ねトレンド通りの推移



(単位: 億円)

	売上高		
	'16/3期 2Q実績	'17/3期 2Q実績	増 減
PE	132	205	+73
SS	83	87	+4
合計	215	293	+78

	営業利益		
	'16/3期 2Q実績	'17/3期 2Q実績	増 減
PE	-39	-24	+15
SS	-18	-16	+2
合計	-57	-40	+17



# 連結貸借対照表

(単位: 億円)

	'16/3期 期末実績	'17/3期 2Q実績	増 減
現金・預金	209	248	+38
売上債権	708	349	▲359
棚卸資産	66	133	+68
その他	45	48	+3
<b>流動資産計</b>	<b>1,028</b>	<b>778</b>	<b>▲250</b>
有形固定資産	26	25	▲1
のれん	83	68	▲15
無形固定資産他	19	16	▲3
その他	52	55	+3
<b>固定資産計</b>	<b>181</b>	<b>165</b>	<b>▲16</b>
<b>総資産計</b>	<b>1,209</b>	<b>943</b>	<b>▲266</b>

	'16/3期 期末実績	'17/3期 2Q実績	増 減
買入債務	359	102	▲256
前受金	58	135	+76
短期借入金 <sup>*1</sup>	(8)12	(8)11	▲1
その他	80	45	▲35
<b>流動負債計</b>	<b>509</b>	<b>293</b>	<b>▲216</b>
長期借入金 <sup>*2</sup>	(134)160	(128)151	▲8
その他	59	59	—
<b>固定負債計</b>	<b>218</b>	<b>210</b>	<b>▲9</b>
<b>負債計</b>	<b>727</b>	<b>503</b>	<b>▲224</b>
<b>純資産計</b>	<b>482</b>	<b>440</b>	<b>▲42</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,209</b>	<b>943</b>	<b>▲266</b>

\*1 \*2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

# 連結キャッシュ・フローの状況

(単位: 億円)

	'16/3期 2Q実績	'17/3期 2Q実績	増 減
現金・現金同等物の前期残高	296	200	▲96
営業キャッシュ・フロー	65	66	+1
投資キャッシュ・フロー	-7	-11	▲4
フリー・キャッシュ・フロー	58	55	▲3
財務キャッシュ・フロー	-8	-13	▲6
現金・現金同等物に係る 換算差額	0	-3	▲3
現金・現金同等物の期末残高	346	239	▲107

# '17/3期業績予想

(単位:億円)

	'16/3期 通期実績	'17/3期 通期予想	増減
売上高	1,031	1,120	+89
営業利益	54	62	+8
(営業利益率)	5.2%	5.5%	
経常利益	51	61	+10
親会社株主に帰属 する当期純利益	28	40	+12
受注高	1,125	1,260	+135

## ＜基本方針＞

当社は、安定成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保資金を確保しつつ、経営状況に応じた株主への利益還元を継続して行うこととしている。

	2016/12 中間配当	2017/6 期末配当	年間計
一株当たり配当額	29円	29円	58円



## ディスクロージャーポリシー

### 1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様への期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方に則り、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをはかることにより、当社グループに対する理解促進をはかり、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

### 2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法等の諸法令および金融商品取引所が定める規則等により開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則等に則り、情報開示を行います。また、法令や規則等に該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様にとって有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

### 3. 情報開示の方法

上記の法令や規則等により開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則等で定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則等に該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページ等を通じて情報開示を行います。

### 4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答等を通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをはかります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見等は、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

### 5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算(四半期決算を含む)期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見直しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答等は差し控えます。

### 6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標等のうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

### 7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションがはかれるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 CSR推進室 広報IR部

Tel: 03-6853-7317 Fax: 03-6853-8709 E-mail: pr@metawater.co.jp